

ハッピーミーティングや学校評価の振り返りから

- 素朴で素直な児童が多い。
- 明るく元気に挨拶できる児童が多い。
- 自分の役割を果たそうと努力できる。
- 上級生の面倒見がよく、ペア活動など楽しくできている。
- ▲継続して取り組むことに弱さがあり、学力の定着につながらない。
- ▲自分の考えを文章に書いたり、言葉にして話したりする「表現力」に課題がある。
- ▲児童が自分自身で考えて行動する力に弱さがみられる。
- ▲間違いを恐れて一歩踏み出せない時がある。

なかよく
かしこく
たくましく

学校の教育目標

- ・仲間と力を合わせて生活する子
- ・進んで学習する子
- ・目標に向かって粘り強く取り組む子

めざす児童の姿

共通の合言葉

「あいさつ（目を見て
笑顔で自分から）」
「ぼかぼか言葉」

指導の重点項目

教科等の指導

仲間と共に自ら求め学び続ける子
～自己の学びを見つめ、
主体的に探究する子の育成～

①自ら求めて学ぶための工夫

- ・問いや願いを明確に持てる課題化

②多様な仲間と協働的に学ぶ工夫

- ・協働的に課題解決に向かう学習展開の工夫
- ・「個別最適な学び」の実現を目指した指導の個別化

③学び続けるための工夫

- ・自己調整力や自己評価力につながる学習評価の工夫

学級経営

たとえ失敗してもそこから学び、次に活かす学級づくり

①失敗は誰にでもある。その失敗から学び、次に活かすことができる学級経営（教師こそ笑顔で）

②児童のよさ、頑張り、成長を価値付けることで高める自己有用感

③相手の気持ちを考えることができるような活動、思いを伝え合う対話的な活動等を通した人間関係の醸成

児童会活動

「あいさつで笑顔が広がる」児童会活動のさらなる活性化

①各委員会の常時活動、キャンペーンを中心とした日常生活の活性化と質的な高まり

②期毎の重点や行事等と意図的にリンクさせた「あいさつで笑顔が広がる」児童会活動

③自分の考えを表現する力を高め、自己充実感を味わわせることができるような場の設定

めざす子ども像（『第3次多治見市教育基本計画』から）

◇『お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子』

変化が激しく予測が困難な社会をたくましく生き抜いていくために、主体的に考え、多様な他者と協働し、自分の夢や目標に向かって、失敗を恐れず挑戦する多治見の子をめざす。

小泉小の強み

- ・学校運営協議会やまちづくり市民会議等、地域による教育活動への協力体制が確立。
- ・歴史的な遺構など、地域資源が豊富。
- ・粘り強く真摯に指導や支援を行う職員集団。
- ・協力的で理解のある保護者が多いこと。

児童会

委員会スローガン

あいさつで笑顔が
広がる小泉小

6年生有志による
ヤシロンボランティア
の活動を通して
みんなを笑顔に！



教育活動の基盤

【危機管理意識の高揚】

- 安全指導と安全管理の充実
- 問題行動、学校事故等の迅速、組織的な対応
- 不祥事根絶に向けて意識し合える環境づくり

【地域・保護者との連携】

- 「つながり」を大切にした地域とともにある学校づくり
- 保護者や地域からの情報提供への誠実な対応
- HP、学校報等による積極的な情報発信

【チームとしての職員体制】

- 児童に寄り添い向き合う職員
- 支え合い信頼し合える
- ・個々の児童の頑張りやよさの価値付け、認め励まし
- ・情報共有と共通行動
- ・互いに磨きあえる環境づくり（ブロック研、事例研、ミニ研修等）
- ・職員間のサポート体制の確立（一人で抱え込ませない環境づくり、組織的対応）